第11回　是川縄文の里俳句大会　入選作品

【中・高校生の部】

郡川宏一・選

天位　春風にうるしのくしで梳いた髪　千葉学園高三年　佐々木美羽
地位　春泥を払えば土偶笑いけり　八戸商業高一年　木村雛梨奈
人位　虹の後土偶は違う顔見せる　千葉学園高二年　谷川実愛
秀逸　夕立を懐かしく聞く土偶たち　千葉学園高二年　長沢莉子
　　勾玉に映る笑顔や風光る　千葉学園高三年　奥寺心菜
　　炎天や獣追う人飛ぶ矢じり　千葉学園高三年　白井来羅
佳作　この月を君の時代もみてたかな　千葉学園高二年　附柳日菜乃
　　土偶の目見返す私蝉時雨　向陵高　一年　北上湖晴
　　秋の空土偶は何度見ただろう　島守中　一年　谷川あずさ
　　秋空が縄文館によく似合う　千葉学園高二年　古里涼風
　　きらめくは頃巻川の岩魚かな　是川中　三年　小玉光太郎
　　吹雪く里土器のぬくもり手に残る　千葉学園高三年　杉森雪羽
　　土筆採り手に残る香に祖母思う　湊中　三年　佐々木彩ノ丞

山谷文子・選

天位　縄文の里を彩る紅葉かな　八戸商業高一年　遠瀬柚衣
地位　向日葵が是川遺跡包み込む　向陵高　一年　中村悠真
人位　秋の空土偶は何度見ただろう　島守中　一年　谷川あずさ
秀逸　星流る合掌土偶は何願う　川内中　二年　原　雪乃
　　縄文の土偶を囲むせみの声　川内中　一年　滝沢翔太
　　勾玉の白に平和を思う夏　千葉学園高三年　橋本　璃胡
　　炎天に土偶の顔がまぶしそう　千葉学園高二年　下川　美穏
　　雪解や祈りは絶えぬ令和まで　向陵高　三年　三浦　咲月
佳作　縄文の遺跡にそよぐ夏の風　向陵高　一年　内澤　いろは
　　わがまちの縄文誇る夏の山　是川中　三年　小平　莉緒
　　桜散り土偶の顔にふりそそぐ　千葉学園高一年　佐々木　眞心
　　夏の空土偶がニコニコわらってる　千葉学園高一年　工藤　葉月
　　吹雪く里土器のぬくもり手に残る　千葉学園高三年　杉森雪羽

吉田千嘉子・選

天位　秋の空土偶は何度見ただろう　島守中　一年　谷川あずさ
地位　土偶から縄文の声聞こえけり　川内中　三年　中山莉来
人位　永久に生きる土偶に風薫る　千葉学園高二年　賣井坂友里
秀逸　猛暑の日たて穴住居ひんやりと　八戸商業高一年　清池蓮斗
　　縄文の土器に宿れる人の知恵　八戸商業高一年　工藤琉久
　　縄文の土偶を囲むせみの声　川内中　一年　滝沢翔太
　　土偶の目見返す私蝉時雨　向陵高　一年　北上湖晴
　　鰯雲竪穴住居の屋根の上　向陵高　三年　野田愁斗
佳作　熱帯夜静かに佇む土偶たち　八戸商業高一年　北浦かえで
　　秋の月土偶も見たる空仰ぐ　向陵高　一年　澤口心奈
　　眠ってるまだ見ぬ土偶桜の下で　向陵高　三年　本田優月
　　どんぐりや縄文の灯が絶えぬ村　須磨翔風高二年　尾川潤恵
　　吹雪く里土器のぬくもり手に残る　千葉学園高三年　杉森雪羽